

今号では、本年度より ICT 活用支援部門長にお迎えした谷塚光典准教授からのご挨拶と、eALPS の新しい機能の紹介、先に行われた繊維学部での e-Learning 研修会の様子を中心にお伝えします。

## contents

e-Learning center newsletter No.15

■ 新 ICT 活用支援部門長あいさつ	1
■ information コピペ対策に関して	1
■ 「eALPS 研修会」開催 (in 繊維学部)	2
■ eALPS バージョンアップ情報②	2

新 ICT 活用支援部門長あいさつ

## 信大生の「自立・協働・創造」を支える e-Learning

2014年4月から、ICT活用支援部門長を務めています谷塚です。主担当は教育学部です。



谷塚光典 (やつかみつなり)  
ICT活用支援部門長

これまでは、eALPS のユーザーの一人 (しかも、かなりのヘビーユーザーと自覚!) という立場でした。それが、ICT活用支援部門長を拝命し、私が担当している授業で活用するだけではなく、教職員や学生のみならず、より一層活用できるようにサポートする立場へと変わりました。

2013年6月14日付けで閣議決定された第2期教育振興基本計画では、「自立・協働・創造モデルとしての生涯学習社会の構築」を掲げており、基本的方向性の1つに「社会を生き抜く力の養成」を挙げています。特に、高等教育段階では、知識を基盤とした自立、協働、創造の社会モデル実現に向けて、「課題探求能力」を身に付けられるよう、学生の主体的な学びを確立することを求めています。この「自立・協働・創造」と e-Learning の関連を考えてみましょう。

- 自立：授業時間内外に e-Learning のコンテンツで自主的に学習することによって、質を伴った学修時間の実質的な増加・確保ができます。
- 協働：“反転授業”のように e-Learning で課題を予習した上で授業に出席してディスカッションをしたり、授業後に e-Learning の掲示板でリフレクシ

ョンやディスカッションを行ったりすることによって、様々な個性を持つ学生が協働的に学習を進めていきます。

- 創造：e-Learning の活用により授業形態が協働的になることが、社会全体の変化や新たな価値を創造し主導するような人材の養成に繋がります。

このような e-Learning の活用を支えるのが、ICT活用支援部門です。この部門の業務は、「e-Learning 等を利用した教育等の事例・方法の調査及び情報提供並びに研修会等の企画に関すること」と「e-Learning 等を利用した教材等の作成及びシステム活用の支援に関すること」です。ICT活用支援部門のメディアコーディネータは、研究開発運用部門のヘルプデスクと密接に連携しながら、先生方のご希望・ご要望に沿った eALPS の活用方法をご提案してくれます。Moodle の機能を援用したり組み合わせたりして、先生方がやってみたいことを実現できる方策を一緒に考えてくれます。例えば、eALPS では、シラバスに記載の授業科目用にコースを設定していますが、ご要望に応じて、特定の目的のためのコースを別途設定することも可能です。学年や課程・学科をまたいでポートフォリオの利用にも用いられていますし、担任による学生への修学指導での利用も検討されています。

e-Learning Newsletter では、e-Learning センターの活動報告の他、eALPS の特徴的な事例や便利な機能を紹介していますので、先生方のご参考にしていただければ幸いです。バックナンバーは、e-Learning センターの Web サイトに PDF ファイルで掲載しています。



### 学生提出物の「コピー&ペースト」対策に関して

学生の提出物の中には、不正なコピー&ペースト (以下コピペ) が増加する傾向にあり、教員が指導してもなかなか徹底されないことが指摘されています。

手書きのレポートと比較すると、コンピューターを使用して作成したレポートは不正なコピペが容易に出来てしまいます。教員が学生に的確な指導が出来ればよいのですが、膨大な情報があふれているインターネットからの不正なコピーを見抜くのは困難です。著作権の観点からも学生自身のためにも不正なコピペ対策が必要となり、簡単にコピー&ペーストを見分けるソフトを紹介してくれないかとの要望が寄せられるようになってきました。

対策ソフトが全国大学生生活協同組合連合会発行の「ソフトウェアニュース 2014年6月号」で紹介されています。

e-Learning センターと高等教育研究センター共同主催

# 今年度も「eALPS 研修会」開催！！ (in 繊維学部)

e-Learning センターと高等教育研究センター共同主催による「eALPS 研修会」を今年度も開催しています。7月17日繊維学部においては、多くの先生方にご参加いただき研修会を実施することが出来ました。

はじめに eALPS 利用状況や、ペーパーテストの結果を eALPS を利用してオンラインで個々の学生にフィードバックする方法など活用事例を紹介し、その後先生方から活発な質問のもと実際のコースを確認しながら要望を伺い個別対応の時間を長めに設けて進行しました。

既に eALPS を活用いただいている先生方へは個々の疑問を受けて新たな活用方法をご提案し、今までほとんど利用されることがない先生方には実際に操作方法を提示して様々な機能紹介をしました。今後の活用につながるご意見、ご要望も多く寄せられた研修会となりました。



尚、当日配布いたしました「eALPS 入門」はこちらで手に入れることができます。

**eALPS ヘルプ&サポート → 教員向けマニュアル → コース編集 → eALPS 利用の手引き**


今年度も eALPS を皆様にご利用いただけるよう研修会の開催を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## eALPS バージョンアップ情報 ②

eALPS の新バージョンでの運用にご協力いただきありがとうございます。このコーナーでは、バージョンアップに伴う新機能をご紹介します。

### 項目（アップした資料や作成したフォーラムなど）の公開期間が設定できるようになりました

eALPS のコースにアップロードした授業の資料を非表示にしておき、授業終了後に学生が見られるように公開する、といった事が自動的に行なえるようになりました。新たに追加された【コンテンツ公開設定】を以下の手順で設定します。

【編集モードの開始】を行い、公開期間を設定したい項目の歯車のアイコン  をクリックして設定画面を表示します。新規に項目作成時にも同じように設定できます。



設定画面の一番下にある【コンテンツ公開設定】を以下のように設定し、変更を保存します。

コンテンツ公開設定（この項目を利用するためには複雑な設定が必要ですので、利用の際はご注意ください。）

アクセス開始日時	22 7月 2014 10:30	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	アクセス開始日時/終了日時 ・ Yes の横のチェックボックスに <input checked="" type="checkbox"/> を入力 (開始/終了のどちらか一方のみ設定も可能) ・ 開始/終了日時を設定
アクセス終了日時	29 7月 2014 09:00	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	
評価コンディション	(なし) 次の評点以上: % 次の評点未満:		グレイアウトするか完全に隠すかを選択します。
フォームに 2 件の評価コンディションを追加する			
ユーザフィールド	(なし) 次の子文字を含む		
フォームに 2 件のユーザフィールドコンディションを追加する			
活動が利用可能の前に	制限情報とともに活動をグレイアウトした状態で表示する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	活動を完全に隠す	<input type="checkbox"/>	

項目ごとではなく、セクション（コースに並んでいる枠）全体に公開期間を設定することもできます。

セクション（トピック1）内のすべての項目が公開期間設定の対象となります。

学生の画面

利用可能な期間がグレイで表示されます。

グレイアウトを選んだ場合（学生の画面）

項目が表示されていません。

【活動を完全に隠す】を選んだ場合（学生の画面）